

平成29年度 全国学力・学習状況調査（3年生対象）結果について

生駒市立緑ヶ丘中学校

〈教科に関する調査結果（正答率と生徒質問紙）から〉

国語・数学とも平均正答率が生駒市・奈良県・全国を上回っています。A問題（主として知識に関する問題）に比べて、B問題（主として活用に関する問題）の平均正答率が低くなっています。

国語では、国語を好きな生徒が多く、書く力・読む力が特に優れているようです。しかし、読書をしている生徒や、読書が好きな生徒の数の割合が、全国の割合より低いので、本に親しむ機会を増やし、読書への関心意欲を高めることが今後の課題と考えます。

数学では、資料の活用の分野の正答率が低かったようです。また、数学を好きな生徒が少なく、将来社会に出たときに役立つと思いますかという問いに対して、「あてはまる」と答えた生徒の割合が、全国の割合より低かったので、授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える力をつけることが今後の課題と考えます。

〈生活・行動や考えに関する調査結果（生徒質問紙）から〉

基本的な生活習慣に関する項目で、朝食を毎日食べていますかという問いに対して、「あてはまる」と答えた生徒の割合が全国の割合を上回り、全体的にきちんとした生活習慣が身についているようです。さらに、TV・DVDを見たり、ゲームをしたり、携帯電話・スマートフォンで通話やインターネットをしたりする時間がかなり少なく、学習時間がとても多い結果となりました。その反面、家族との会話の時間や、地域の行事への参加などが少ない傾向にあるので、今後、家族や地域との関わりをもつ時間が増えればよいと考えます。

難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますかという問いに対して、「あてはまる」と答えた生徒の割合がかなり多く、自己肯定感をもち、また、将来に対して目標をもって取り組んでいる生徒が多かったことがとてもよかったと思います。引き続き様々なことにチャレンジし、成功体験を増やしていけるような活動を進めていくことが大切だと考えます。